

番外編

中国の口蹄疫について

みなさんこんにちは。(有)シェパードの獣医師 松本です。いま、中国の青島にいます。実は20日に帰国する予定でしたが、中国で口蹄疫が発生したということで、帰国を自粛しているところです。実際に口蹄疫が発生しているのは、山東省と江蘇省の境目の南の方ですので、僕がいるところから数百kmも離れたところなのですが、同じ中国にいるということで、帰国するといろんな方にご心配やご迷惑をおかけすることになってはいけないという判断です。(だって、もし僕が帰国した後に口蹄疫の疑似患畜でも発生したら、僕のせいみたいでしょ?)

みなさんは、以前のような風評被害を起こすようなことがないように冷静に対処しましょう。ただし、せっかくの機会ですから、政府に働きかけて、日本へ入国する人や物をオーストラリア並みに消毒するなどの措置を取ってはいかがでしょうか? 中国本土だけでなく、韓国や台湾からもたくさんの人や物が日本に入ってきます。それらを放置しておいて、消毒された輸入ワラを危険視するというのは、なんだか逆のような気がします。日本は海に囲まれた島国ですから、本来防疫活動は取りやすいのです。おなじく海に囲まれたオーストラリアの輸入検疫を見習ってはいかがでしょうか。

いままで中国では口蹄疫がある、ということ为前提にイナワラの消毒などを行ってきたはずですが、今回、中国が公式に口蹄疫をOIEに報告したため、逆に事態がおおやけになって騒がれています。でも、中国がOIEに報告したということ自体が、中国の防疫体制の前進の表れです。今回の防疫体制も、周囲の国道の封鎖、軍隊の出動による消毒、全頭ワクチネーションなどの徹底したものです。こういう政府主導の事業の時に、もしも違反するような人がいたら死刑だそうです。中国政府が動くときは本当に徹底的なのだと言われます。中国は、日本畜産の輸出相手国としても大変魅力的な国ですし、両国の経済は切っても切れなくなっています。せっかくのチャンスですから、この際、日本も各農場や空港、港湾などの水際での防疫体制をしっかり確立し、冷静に対処していければと思います。

